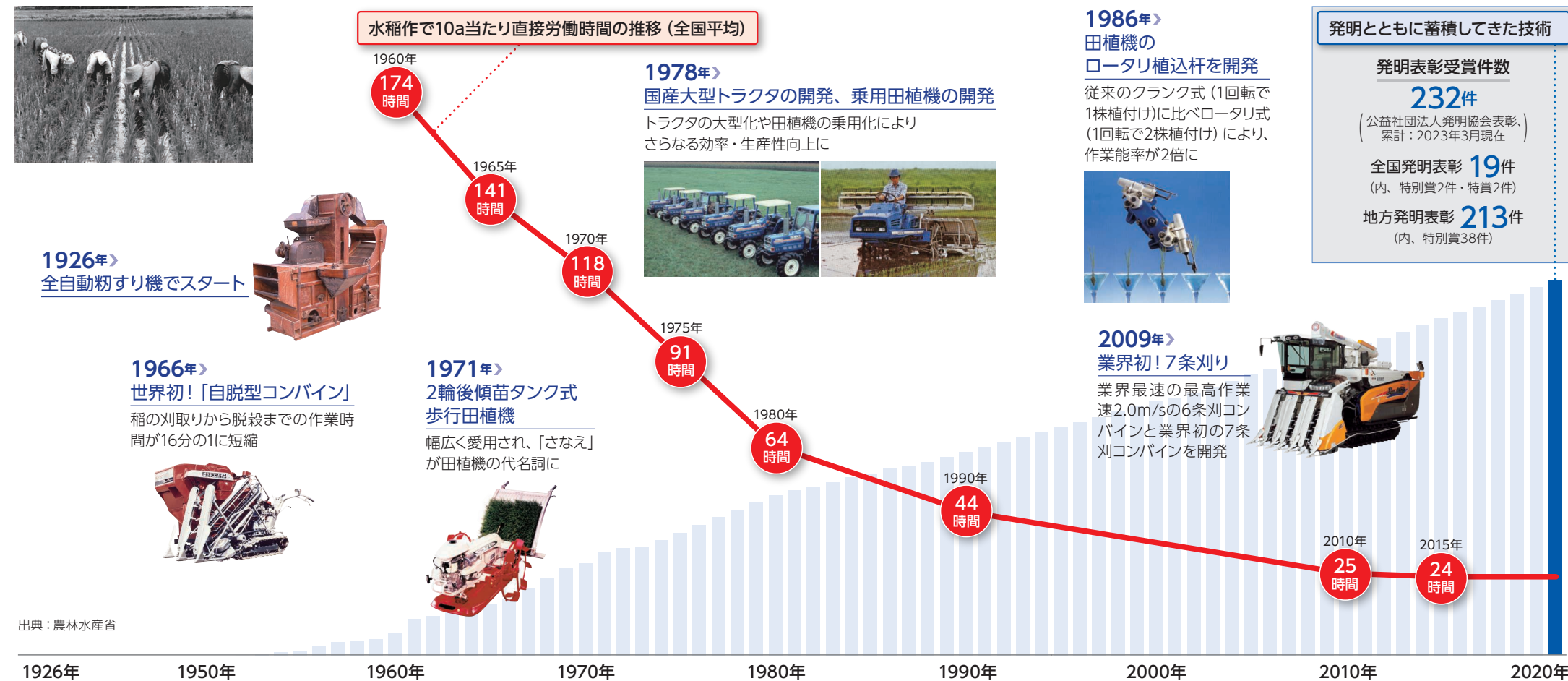


# 社会課題を解決してきた歴史

創業者の想い「農家を過酷な労働から解放したい」から始まり、「お客さまに喜ばれる製品・サービスの提供」を通じ、社会的価値と経済的価値を創出してきました。

## 日本農機のスタンダードを創りあげ、機械化の進展に貢献



出典: 農林水産省

1926年	1945 — 1950年代	1960 — 1970年代	1980 — 1990年代	2000年代	2010 — 2020年代	2030年
<b>主な社会課題・ニーズ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の食料増産</li> <li>高度経済成長期のはじまり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度経済成長期、都市部への人口集中による農業労働人口の減少</li> <li>農業の近代化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化の進展</li> <li>農業従事者の減少、高齢化の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の安心・安全への関心の高まり</li> <li>食料自給率向上</li> <li>農業の持続的発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営の大規模化</li> <li>農業従事者の減少、高齢化の進展</li> <li>農作物の高付加価値化</li> <li>環境負荷低減</li> <li>食料安全保障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs達成への貢献</li> </ul>
<b>井関グループのソリューション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料増産を支える農業機械の開発と普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業機械の大型化と多様化</li> <li>稲作の機械化一貫体系の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省力、低コスト農業に貢献する機械の開発</li> <li>野菜作における機械化</li> <li>欧州向け乗用芝刈機開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上に貢献する大型機械の開発</li> <li>営農提案・サポートなどソフト面の強化</li> <li>アジアへの農業機械の展開本格化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端技術やデータを活用したスマート農業の実現</li> <li>環境保全型農業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食と農と大地」のソリューション</li> </ul>
<b>社会的価値を創出 ~持続可能な農業に貢献~</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の機械化による労力軽減・生産性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の工業化・経済発展に寄与</li> <li>自脱型コンバインと田植機は戦後日本のイノベーション100選に選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省力・低コスト化による収益性向上</li> <li>野菜作など多様化・高収益化</li> <li>海外景観整備の作業能率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型化・スマート化などさらなる効率化・生産性向上</li> <li>環境負荷低減</li> <li>アジア農業の生産性向上</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>夢ある農業と美しい景観を支え、持続可能な「食と農と大地」の未来を創造する</li> </ul>

1926年 「井関農具商会」を創立  
1936年 「井関農機株式会社」を設立

1946年 松山工場を設立  
1949年 熊本工場を設立



1958年 系列販売会社の設立を開始以降、販売会社を日本全国に展開

1961年 新潟工場を設立  
東京証券取引所に株式を上場

1969年 東京支社を本社事務所と改称

1971年 ブラッセルにN.V. ISEKI Europe S.A.を設立

1972年 松山工場を増設、本社を同所に移転

1977年 茨城県に中央研修所を設立  
北米にトラクタを輸出開始 (OEM)



2001年 製造部門の分社により、株式会社井関松山製造所、株式会社井関熊本製造所を設立

2003年 中国江蘇省に井関農機(常州)有限公司を設立

2011年 中国湖北省に東風井関農業機械(湖北)有限公司を設立

2012年 PT.ISEKI INDONESIAを設立



2013年 ISEKIテクニカルトレーニングセンター (ITTC) を設立  
ISEKI SALES (THAILAND) CO.,Ltd. (現IST Farm Machinery CO.,Ltd.) を設立

2014年 井関常州と東風井関を事業統合し、東風井関農業機械有限公司を設立  
フランス代理店Yvan Beal S.A.S、YB Holding S.A.S (現: ISEKI France S.A.S) を子会社化

2015年 夢ある農業総合研究所を設立

2016年 設計基本技術トレーニングセンター (IETC) を設立

2017年 ISEKIグローバルトレーニングセンター (IGTC) を設立

2020年 タイ販売会社 IST Farm machinery CO.,Ltd.を子会社化

2022年 ドイツ販売代理店Iseki-Maschinen GmbHを子会社化

### 現在・未来へ

#### スマート農業

ロボット技術やICTなど先端技術を活用したスマート農業を推進しています。効率的で生産性の高い農業経営を目指します。



#### 世界の農業に貢献

アセアンなど農業の機械化により、効率的な食料生産、農業の生産性向上に貢献します。



#### 生活の質の充実へ

欧州の街づくりや北米等でのプライベート充実にも貢献します。



#### 環境保全へ

脱炭素・循環型社会の実現へ貢献します。

